

調布市長選挙への挑戦について

市長選の結果と今後に向けて

7月5日に行われた調布市長選挙に、木下やすこは生活者ネットワークを離れ、無所属で出馬いたしました。

6期24年市政を担った長友市長が引退を表明し、元・前市議会議員の4人が立候補する構図となりました。木下やすこは、これまで通信で何度も取り上げてきた基地跡地留保地問題や子どもの権利、ケアラー支援、気候変動、物価高対策等々の政策を訴え、多くの市民の方々の共感と支持を得ましたが、結果は下記の通りとなり、当選は果たせませんでした。

生活者ネットワークの議席は、市民の声を代弁する「市民の議席」として活動してまいりましたので、市民の議席を失う結果となりましたことは残念ですが、市民自治を実践する私たちの活動は今後も継続してまいります。

そして、対話のある市民の暮らし優先のまちづくりに向けて、2027年の統一地方選には再び議席を獲得する所存です。今後ともご支援・ご協力をお願いいたします。

代表 下釜芳江

2026年調布市長選結果
(投票率43.67%)

林 あきひろ 29,112票
井上 こうし 25,700票
木下 やすこ 20,457票
いそべ 隆 10,338票



市内各自治体で活躍している生活者ネットワークの議員が応援に駆けつけてくれました。

調布市議会議員退任のご報告

私、木下やすこは、7月5日投開票の調布市長選挙に立候補した6月28日、調布市議会議員を自動失職いたしました。2023年の地方統一選挙では3207票のご支持をいただき、市議会に送り出していただきましたが、任期をあと1年弱残して議席を離れることとなりました。これまでご支援いただきました皆さまには、任期を全うすることができなかったことをお詫び申し上げます。

市長選挙には無所属で臨みましたが、これまで調布・生活者ネットワークの活動の中で仲間とともに提案してきた生活者の視点に立った政策や、さまざまな方から寄せられたお声をもとに作った新たな政策を掲げ、20,457票をいただきました。賛同してくださる多くの方々に支えられ、市民の手作り選挙で戦い抜きましたが、残念ながら3位、落選という結果となりました。

しかし、国をはじめ政治家が国民を顧みず、数の力のみで暴走を続ける今、政治不信を募らせる方も多い中で、木下の政策に希望を感じ、応援に駆けつけてくださる方が日に日に増えていくのを感じました。その様子に、生活者ネットワークがこれまで積み重ねてきた活動の方向性は間違っていなかったと確信しました。

木下は、7月14日をもって調布・生活者ネットワークのメンバーに復帰いたしました。これからも、皆さまの暮らしの手元に届く、希望につながる政治を目指し活動してまいります。

木下やすこ



調布基地跡地留保地の決定プロセスは黒塗り。情報公開と市民参加のまちづくりを訴えました。